

# 全難聴女性部だより 第41号

平成31年1月26日発行 発行人：永末淑子 編集：事務局



## 新年のご挨拶

部長 永末 淑子

新年あけましておめでとうございます。

小さい庭の隅に、ピンクのかわいい薔薇たちが咲いています。寒いのに風に揺れています。皆様方は、どのような新年をお迎えになられたでしょうか？日頃から女性部へのご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。役員一同、心より厚くお礼申しあげます。

昨年は、西日本豪雨、北海道地震など各地で災害が起こり犠牲になられた方々には、お見舞い申しあげます。新聞やテレビでは、南海トラフでマグニチュード7クラスの地震がいつ起こるかもしれない災害に、日頃から町内や隣近所への声かけをして避難に備えるように呼びかけています。

全難聴でも「災害マニュアル」を作成しています。普段から協会内でも緊急連絡などについても打ち合わせしておく備えが必要です。

昨年の「全難聴福祉大会 in やまぐち」では、女性部は第1分科会を担当しました。テーマは、「最後まで自分らしい人生をおくるための終活とは？」でした。波多江伸子先生の講演を聞き、パネラー江口様、片岡様の発表の後、新谷理事長の座長により、会場の参加者を交えて活発に意見が交換されました。終活と言えば人生の終わりの話のようですが、誰もが一度きりの命を、どのように充実して有意義に生きていくかを、考えるものです。男性の参加者も多く1番人気の分科会でした。2日目のバザーも、全国の皆様から心のこもった提供品の売れ行きが上々でした。今後共、どうぞよろしくお願ひします。

## 平成 31 年度 役員・県部長の抱負



### ◇部長・福岡市部長：永末淑子

あけましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えになられていることと思います。私は部長を務めて8年になりました。

前部長・須山さんや前事務局長・有延さんには、色々ご指導して頂いたことを思い出し、感謝と共に感慨深いものがあります。のんびりで至らないところもありましたが、平成最後の年の総会で退任致します。全国女性部、窓口の皆様、役員の皆様方には、温かくご親切にして戴き、ありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。

今年の抱負は、「笑顔」です。誰にもやさしい気持ちを持って、笑顔で会って話したいです。

### ◇副部長・奈良県部長：藤岡央子

あけましておめでとうございます。

今年は今上天皇陛下の退位と新天皇陛下の即位があり、時代の移り変わりを強く印象に残す年になりそうです。

全難聴女性部にとっても役員改選の年であり、新しい女性部の幕開けに期待と不安が交差していますが、ここは「やるしかない！」と自分自身を奮い立たせています。

各地域女性部の高齢化が進む中で、どのようにすれば若い世代を増やして活性化出来るか？様々な取り組みを考え、実践していきたいと思います。

どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

### ◇事務局長・岐阜県部長：加藤千津子

あけましておめでとうございます。昨年は皆様にご協力をいただきまして、ありがとうございました。今年もよろしくお願い致します。

今年は、天皇が退位し新元号となります。次代に願いを託す年となります。女性部も役員改選の年です。平成 27 年に事務局長を拝命して、4 年目となり今期で退任しますが、次期に願いを込めてバトンタッチします引き続きご協力お願いします。

全難聴女性部、各県女性部も高齢化が進み後継者に苦慮する様子をお聞きします。そのため長く女性部として活動されましたが、止む無く窓口、休部となる地域も出てきています。非常に残念でなりません。存続するための工夫を考え、会員の増員、後継者の育成に取り組むことが必要です。新元号を迎え、心機一転、頑張りますとともに、皆様のご健闘をお祈りします。

### ◇事務次長・和歌山県部長：薦尾東紫

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

事務次長を務めて3期目6年です。県部長も6年目。

そろそろ両方ともバトンタッチを…と思うのですが…今年も皆さんの色んな声に耳を傾けて女性部パワーを発揮して乗り切りたいと思います。

### ◇事務次長・京都府部長：片山ひろみ

☆（喪中につき、ご挨拶は控えさせていただきます）

昨年は、京都で「きこえのフェスタ」を9月8日・9日の両日開催し、全難聴女性部のバザー実施で会場の雰囲気にはっこりできるアクセントが生じました。予想を上回る売上で、役員同士が喜び合う成果が出せて、京都府の女性部部長としても誇りに感じました。

それぞれの努力が繋がって結集され女性部の底力を発揮できたと思います。

今年も協力し合って邁進できますように！

◇会計：磯島都子

昨年は成年にちなみ新年早々、野犬狩りで危うく保護された生後 2 か月の孤児犬（タロー）の里親として共に過ごし、振り回される日常でしたがペットへの愛着が湧き、今はすっかり家族の一員となっています。皆さんをワンコに例えて済まないですが、女性部も関わっていくうちに人それぞれに知的な美人であることが分り、一層みなぎる力が湧いてきそう・・・(笑)。歴代役員が残してくださった教訓を基に、もうチョットだけ(\*^\*)頑張ります。

今年もよろしく申し上げます。

◇広報・兵庫県部長：庄司美絵

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、地震や台風など身近に災害が続きました。県難聴女性部メンバーで、SNS を使って励まし合いました。

広報担当 2 年目。

「難聴者の明日」原稿依頼で、各地域協会の女性部活動の様子が分かり、中には新入会員増えたり、色んな行事を企画したりなどととても微笑ましく思います。

山口大会で、同年代の仲間にはちらっと聞きました。地元女性部に、年配の方が多く仲間にくらぶと、同じ悩みや相談できる場所がないとか話していました。

近畿ブロック女性交流会は、今年 9 月に第 10 回目を迎えます。昔の女性部を振り返り、何か思い出しながらディスカッションをする予定です。

OB の方にも声をかけて、同窓会みたいに集まったら、と考えています。

今春、ご案内をいたしますので、全国の皆さま、ぜひともご参加をよろしくお願いいたします。

◇監査：塚本茂子

明けましておめでとうございます。

昨年の茨城県女性部例会では、着付けの資格を持つ会員の指導で、40年も眠り続けていた着物に袖を通しました。着付け後にお茶を点て、手作りの和菓子をいただきながら、日本の着物文化を次世代にも伝えようという話になりました。

後日、贈り物の礼法600年以上の伝統を誇る「折型展」を観る機会あり、日本文化の奥深さを改めて知ることができました。

新しい年も中心帰一の気持ちで、お務めさせていただこうと思います。本年も、よろしくお願いいたします。

◇監査・大阪市部長：高田郁代

新しい年が始まりました。どうか穏やかな年でありますようにと願います。

新年の抱負は、役員としては、昨年と同じく与えられた任務をただただ全うするのみです。

地域の部長としては、とにかく女性部の活動を持続すること！昨年も書きましたが、女性部の活動に熱心に参加して下さっていた方がさらに複数、お体の事情で参加が望めなくなってしまいました。寂しい限りです。役員の若返りも難しい状況ではありますが、女性部の活動が続けられるよう役員と力を合わせて工夫していきたいと思っています。

◇相談役：須山優江

全国的に会員の高齢化に伴い、どの協会も女性部運営や役員選出に苦労があるかと思いますが、めげずにやるべきことをやりましょう。皆様のご健闘をお祈りしています。

◇札幌市部長：馬場順子

新年あけましておめでとうございます。

昨年はいたるところで、大きな災害が発生し、北海道までが、ブラックアウトなる地震による北海道全域が一瞬にして停電になりました。聴覚障害者にとっては、被災者でありながら全くの情報遮断で不安な時間を過ごしましたが会員の皆さん無事だったのが何よりでした。

さて、当会も高齢化により女性部と実年部の線引きが難しくなり、これからは協力しあいながらの行事計画を念頭に活動をしていこうと思います。

今年も元気に活動できますようにが一番の願いであります。

#### ◇茨城県部長：佐藤緑

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。10月12～14日、いきいき茨城ゆめ大会開催、スローガンは「跳べ羽ばたけそして未来へ」。うれしいこと、悲しいこと色々ありますが、共に羽ばたいていきましょう。今年もよろしく願い申し上げます。

#### ◇群馬県部長：渡辺澄江

今回の抱負は多忙のため辞退の申し出。

#### ◇東京都部長：明田美奈子

新年明けましておめでとうございます。

皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

今の難聴女性の家庭や職場で求めるニーズが変わりつつあります。

次の世代女性部員に安心して活動できるようにするためには難題が多々あると思います。

年齢層の若返りとして、自分磨きや子育てなどの参考になるような企画、若い部員の考えを尊重し、安心してバトンタッチできるように少しずつ新しい女性部を目指したいと思います。

#### ◇横浜市部長：主藤京子

謹んで新年のお祝詞を申し上げます。本年も宜しく願い致します。

去年は「横浜の集い」を開催致しまして無事に終えることが出来ました。これも参加して頂きました皆様のお陰です。改めて感謝とお礼を申し上げます。私達ひとりでは微力ですが力を合わせると大きなことを成し遂げられると知りました。1人1人がとても大切です。仲間と力を合わせ健康で元気に楽しく活動していけたらと思います。よろしく願い致します。

#### ◇川崎市女性部長：伊藤雅子

謹んで初春のお慶びを申しあげます。

当協会は、毎年、会員からの意見と知恵を出し合い、楽しい行事を企画しています。その結果、定員を超える程の参加者が集まりました。

今年も、皆さんの希望を取り入れ、高齢者のお体を労った楽しい企画を考えたいと思います。いつまでも笑顔の輪が広がる事を願い、毎回、大勢の参加者で盛り上げられたら嬉しいです。皆様のご健康とご多幸をお祈りすると共に本年も宜しく願い申し上げます。

#### ◇長野県（信州）女性部長：中野久仁子

新年あけましておめでとうございます。全難聴女性部の皆様には良いお年を迎えられたこととお慶び申し上げます。前女性部長の突然の退会、急遽私が女性部長として活動してきました。なかなか参加者が集まらない、思うようにすまないことがありましたが仲間に助けられここまでできました。今年は参加者が集まりやすい企画を作り活発的な活動をしていきたいと思っています。至らないことがあると思いますがよろしく願いします。



◇新潟県部長：大西邦子

今年は女性部総会が川崎市で開催されます。久しぶりに出席して全国の仲間たちに会うのを楽しみにしています。専門部として女性部は必要か悩んだときもありますが、絶対多数の女性たちが協力して活動を続けていくことは県難聴者協会にとっても意義のあることと思います。今年も頑張って活動していきたい。

◇大阪府部長：大阪府 橋川みえり

あけましておめでとうございます。昨年の女性部では新しい参加者が少し増えました。新年に思うことは毎年同じです。会員が毎月の集いの予定をカレンダーに書き込んで心待ちにしてくれるような会にしたい。参加してくれた時「あ～楽しかったわ」と家に帰ったあともご機嫌で過ごしてくれたらそれでいいや、と思います。まずは毎月の集いを地道に今までのペースで続けていきたいです。

◇神戸市部長：竹内かつ彥

今回の抱負は不幸があり辞退の申し出。

◇山口県部長：

## 第24回全国中途失聴者・難聴者福祉大会inやまぐち(幕末 ISHIN)

### 第1分科会 ご報告 (参加者 110人)

#### 「第1部」

講演／講師：波多江伸子先生

プロフィール

福岡がん患者団体ネットワーク がん・バッテン・元気隊 代表  
NPO 法人 日本医学ジャーナリスト協会西日本支部 副支部長  
西南学院大学人間科学部非常勤講師 (死生学担当)

1948年福岡市生まれ。西南学院大学卒業後、九州大学大学院博士課程倫理学専攻満期退学。

33歳より2度の甲状腺がん、糖尿病、うつ病に悩みつつ、患者の立場からの医療倫理・死生学を看護学校や大学で教えている。

がん患者団体「がん・バッテン・元気隊」代表として、ピアサポーターを養成し、九州がんセンターや地域で、がん患者サロンを運営。告知後のケア・家族や職場の人間関係・看取り・グリーフケアなど、がん患者家族への支援を仲間と共に実践している。

著書に、母の在宅ホスピスの記録「モルヒネはシャーベットで」(絶版)。自身の甲状腺がん体験記「身体に寄り添う～がんと暮らす日々」(春秋社)、「考えよう！生と死のこと～基礎から学ぶ生命倫理と死生学」(木星舎)などがある。



先生のお話から～

◆エンディングノートを用意するとよい◆

❖エンディングノートは、法律的（遺言とは違う）な意味はないが、何度も書き直しが可能。

❖認知症になって、決断できない時は、誰が代理をするか書いておく。

❖保険、通帳などの保管場所。

❖自分の資産、余命告知、延命措置の有無。

❖どのような葬儀を希望するか。

❖葬儀の通知は誰にしてほしいか書いておく。

残された家族が困らないためにも大事な作業。



## 「第2部」

### パネルディスカッション

座長：新谷友良氏（一社）全難聴理事長

講師：波多江伸子先生

パネラー：江口久仁子氏（(特非)福岡中途失聴者支援福祉協会 理事）

パネラー：片岡知子氏（神戸市難聴者協会 会長）

会場の皆さんと大いに盛り上がり多数の意見、質疑  
応答がありました。



今回、女性部は「終活」をテーマに取り上げました。

昔は、「死」に纏わる話はタブーとしていましたが、現代はフリーとなりつつあります。誰もが避けて通れない「終活」を皆様と共有できたこと、聞きづらいことが聞けたこと、有意義な分科会となり、各分科会最多の110人の参加者を募ることができました。これも、日頃から女性部にご理解、ご協力、また誰もが体験する身近なテーマを取り上げたことが功をなしたと役員一同感謝申し上げます。ありがとうございました。 役員一同

※参加者にアンケートをお願いしました。アンケートの集計は別紙参照してください。

## 第2分科会に参加して（感想）

老親と一緒に書いてみよう！私のエンディングノート

富山県 島田 ひさか

私たち夫婦は、80代の老親を4人抱えている。還暦を前に、自分たちの老後もさることながら、老親介護や見送りは喫緊の課題。「最後まで自分らしい人生を生きるための終活とは？」のテーマ

に、迷わず参加を申し込んだ。

講師の波多江先生からは、エンディングノートの提案と実際のワークショップがあり、パネラーの方からは、これまでの人生と今後の生き方、終活のメリットや方法・捉え方に関する話があった。また、フロアーからも、様々な経験談や質疑応答があり、またたく間の2時間半を過ごした。

エンディングノート、終活。今まで気にはなっていたが、先送りしていたこと。エンディングノートを書くことで、親の人生を知り今後の段取りをつけることや、自分の人生を振り返り今後の生き方を考えることができる、と学んだ。片岡さんの「自分の夢を書いておくことは、将来迷った時のエネルギーになる」と言う言葉にも、同感。鉛筆で書いて、気持ちが変わったら書き直せるのもいいと思った。今回、具体的な方法やヒントを教えていただいたので、これをきっかけに家族で書いてみたいと思う。

親の介護や自分が病床を迎えた時、聴こえないことがどう影響するか。印象に残ったのが、江口さんをご両親を介護された時のコミュニケーションの苦勞。お父さんは脳梗塞後遺症のため聞こえるものの話せない、お母さんは老人性難聴で怒りっぽくなったと聞いた。ヒトの五感で最後まで残るのは「聴覚」。病床でか細い声で話す親の言葉が聞き取れなかったり、自分の終末期に聞こえないため寂しい思いをしたりするだろう自分。機会があれば、聴覚障害者の終末コミュニケーションについても話を聞きたいと思った。

初めての下関。「波の下にも都はある」と入水した二位の尼、新たな時代を切り拓くべく駆け抜けた高杉新作や坂本竜馬、それを支えた下関の人々。関門海峡の流れと行き交う大型船を見ながら、現代の幸せを感じるとともに、よしっがんばろう！とチカラをもらった大会だった。お世話いただいた方々、ありがとうございました。



## 「終活」感想文

香川県中途失聴・難聴者協会

山田 久美

去る2018年11月24日(土)に山口県国際総合センター(海峡メッセ)で行われた女性部の分科会は、年齢層や参加規模に関わらず老若男女 約100人近く集まったそうです。私も「最後まで自分らしい人生を送るための終活とは？」というテーマにすごく興味があり、又、私自身も人生の折り返し地点を過ぎているので、これから先少しずつ情報を得て行こうと思い、この分科会に初めて参加しました。



まずは、波多江伸子先生の講演から始まりました。資料より一部引用します。

1→いま、なぜ、終活ブームなのか？

団塊世代（昭和22年～24年生まれ 806万人、2030年には80歳を超える）の方々、親の看取りや葬儀を通して、自分の時はもっと簡素にと思っている方が増えています。家族葬・直葬・散骨・墓じまいなど『終活用語』まで出典されており、終活フェスタ開催や入棺体験が一番人気だそうです。

2→エンディングノートについて

遺言書と違って、自分の意思が文書になります。延命措置の中止や葬儀方法の希望、人生を振り返り自分らしい最期を迎える準備ができるものなど。出版社やページ数にもよるが、じっくり調べて自分に合ったものを選んでくださいとの事。エンディングノートがあれば残された家族が決断しやすいという事も知りました。映画「エンディングノート」(2012年制作)も実際にあったそうで、私も調べてみたら地元のレンタルビデオ店GEOでは置いてないそうで、残念。

3→ワークショップ

体験型講座みたいなもので、配布された用紙を読むと驚かされるものがいくつかありました。

自分の基本データ（身長や体重など詳細まで隔々）、自分の資産、余命告知、延命措置の有無、臓器提供・献体、ペットへの条件付き遺言書作成も！！

葬儀の形式や宗教や斎場まで、自分の要望を記入しなければならないそうです。

意思表示カードや献体の登録証が準備必要で、波多江先生自身は、日本尊厳死協会のカード、ドナーカード、アイバンク登録をお持ちだそうです。私もこれから先 真摯に向き合わなければいけないと実感しました。今は亡き私の父も、地元の医大からの願いで献体に提供した事もありました。そして、先生の話の中で一番気になった所は 「死後の世界があると思うか？」。

あると思う or ないと思う or 分からない・・・私は答えることができませんでした。テレビや映画では空想の世界だけど、現実はあり得ないだろうと思う。。。夢のような空想を思い描くと楽しいだろうか。

パネラーの2人が体験発表され、特に片岡さんのお話がとても参考になりました。

『終活』の意味も含め 身の回りの断捨離の事も 相手の事を優先して、あらゆる情報をたくさん調べていた事、残された家族も、家計に響きない程度、上手に回さないといけないという事も。残される家族の負担をかけないようにする事や自分が後悔しない為には、やはりエンディングノートが必要という事。

何を書くべきか、感謝の言葉も入れて 心の整理が出来るという事も、勉強になりました。

波多江先生、パネラー、女性部役員の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



## バザー販売報告

### ① 京都「聞こえのフェスタ」

バザー品提供団体（順不同）：（一社）札幌市中途失聴・難聴者協会、（特非）福岡中途失聴難聴者支援福祉協会、（特非）ぎふ難聴者協会、（特非）茨城県中途失聴・難聴者協会、横浜市中途





失聴・難聴者協会、大阪市難聴者・中途失聴者協会、奈良県中途失聴・難聴者協会、和歌山県中途失聴・難聴者協会、大阪府中途失聴・難聴者協会、京都府難聴者協会、(特非)兵庫県難聴者福祉協会/11 団体 バザー売上金 51,485 円

② 全難聴「福祉大会 in やまぐち」

バザー品提供団体(順不同): 和歌山県中途失聴・難聴者協会、(特非)兵庫県難聴者福祉協会、(特非)福岡中途失聴難聴者支援福祉協会、(特非)ぎふ難聴者協会、横浜市中途失聴・難聴者協会、川崎市中途失聴・難聴者協会、(特非)茨城県中途失聴・難聴者協会/7 団体

バザー売上金 59,141 円

③ 協力金(団体)

川崎市中途失聴・難聴者協会 10,000 (奈良大会残品の売上)、大阪市難聴者・中途失聴者協会 3,000 円、京都府難聴者協会 3,000 円/3 団体 合計 16,000 円

④ 寄付金(個人)

片山ひろみ様 3,000 円、飯島サダ様 3,000、松島みどり様 3,000、磯島都子様 3,000 円、庄司美絵様 2,000 円、浜富美子様 5,000 円、有延八千代様 3,000 円/7 名

合計 22,000 円

《協力金・寄付合計》

③ + ④ = 38,000 円

《バザー売上》

① 京都フェスタにて 51,485 円 ② 山口大会にて 59,141 円

① + ② = 合計 110,626

《総合計》協力金・寄付金 38,000 + 売上金 110,626 = 148,626 円

◆30 年度は京都府「聞こえのフェスタ」と山口県「全難聴福祉大会」の 2 箇所でおこないました。

バザー販売には、多数の団体、個人様にご協力いただき、多くの提供品、協力金、寄付金を頂戴しました。これらの収益は、厳しい財政の中で、大きな活動資金となります。皆様方の温かいご支援に沿えるよう用途を考えていきます。今後とも、女性部へのご支援をお願いしまして、会計報告といたします。 役員一同

## 地域の活動より

奈良県中途失聴・難聴者協会女性部

藤岡 央子

奈良県は今年で創立 34 年を迎えます。

私が奈良県難聴者協会に入会したのは結婚して奈良県に移住してからで、かれこれ 30 年くらいになります。現在の会員数は 45 名、約 3 分の 2 が女性です。奈良県も会員の高齢化に見舞われていて、何とか若い世代を取り込みたいと日々奮闘しています。

今迄の活動で思い出深い経験だったのは、平成 11 年 7 月の全国難聴婦人研究大会です。奈良県で初めて開催された、全国的な大会でした。何をしたらよいのかも分からず、出来たばかりの広い 100 年会館の会場を、ただ動き回っていた…という印象が残っています。

私は第 1 分科会の報告まとめ役になっていたため、全体会で発表をした事が晴れがましく思い出さ

れます。そして平成28年に全難聴福祉大会 in 奈良が開催された事も良い経験になりました。この大会では女性部分科会の全てを任されたので、責任も大きかったのですが、女性部の存在を大いにアピールできたのではないかと思います。

今後の課題について、奈良県ではここ2~3年、邦画に字幕を付ける活動を進めており、年に一度協会主催の邦画字幕上映会を開催して、好評を得ています。今年は河瀬直美監督の「ひかり」を上映しました。100名もの観客があり「とても良かった！」という声に励まされて今後も続けていきたいと思いました。

後、月に一度UDトークの研修会も行っています。スマホアプリのUDトークを使って、健聴者（要約者）と会話する術を磨いていくわけです。若い世代の参加者が多くなれば、一石二鳥になるかもしれません。

最後に、これは女性部としての行事ですが、2~3ヶ月に1度生駒駅前の喫茶店で、オープン茶話会と銘打って、男性も協会会員以外の人参加OKな茶話会を開いています。

奈良県以外の難聴者もOKですので、興味があればどうぞご参加ください！若い世代の女性もボチボチ参加しておられます!(^)!



## 各ブロック「集い」開催報告及び

### \*関東ブロック（日帰り）「横浜の集い」

日 程：平成30年10月7日（水）

会 場：横浜市健康福祉総合センター

主 管：横浜市中途失聴・難聴者協会

内 容：横浜～素敵な夫婦の講演とミニ散策

第1部 講演：井川玲子氏「難聴の家族と私そして短歌の話など」

井川節夫氏「難聴と共に25年」

第2部 ミニ散策

実行委員長：主藤 京子

参加人数：73名

### ～参加者の感想～

#### 関東ブロック女性部研修会in横浜に参加して

新潟県中途失聴・難聴者協会

大西 邦子

新潟県女性部は関東ブロック女性部に所属しており、先回の東京の研修会から2年ぶりの開催であった。新潟人にとって横浜は異国の雰囲気があって、あこがれの地です。研修は「横浜～素敵な夫婦の講演とミニ散策」で、横浜市難聴者協会会長川井節夫氏と奥様の怜子氏の講演が魅力でしたが、横浜のミニ散策も楽しみでした。講演で健聴のパートナーである怜子氏の話は興味がありました。



今まで普通に話げできたのに、急に聞こえなくなったら本人の苦しさはもとより、家族も巻き込まれます。ご主人を思いやる気持ちがいじみでて、一緒に難聴と立ち向かう姿勢に心を打たれました。横浜市のご広報で「浜難聴」のコミュニケーション教室を見つけ、その縁で浜難聴に二人で入会する。そこで短歌に出会う。俳句は季語を入れることや決まりごとが多くあるが、短歌は自由に作れる。

ご自分の短歌を例にしたお話は分かりやすく、私も感じたことをそのままに表せば作れるのではと思わせられました。短歌の歴史にもふれ広い知識による解説を楽しみながら聞き入りました。

節夫氏はスマホ、タブレットなどで音声認識会話支援機の開発に関わられた方で、難聴者の長年の希望の実現にご尽力くださった方です。ご自身が失聴されて要約筆記に希望を見いだされたお話はほんとに共感できます。その要約筆記事業を聴覚障害者協会ではなく、要約筆記を必要としている難聴者団体が受託するべきと運動して浜難聴が移管するまでのご苦勞は並大抵のものではなく、市長を初め市議会議員に働きかけ実現させたその情熱に感動しました。

横浜ミニ散策は、会場の近くの桜木町駅から出発でした。初代横浜駅はここだった。明治5年品川～横浜まで日本で初めての汽車が走った。横浜のシティガイドと要約筆記者による情報保障で横浜の歴史を詳しく知ることができました。最後は山下公園で、ここからはシーバスで横浜港を遊覧しました。海から眺める横浜の街もすてきでした。15分の船旅を終え横浜東口横浜ベイクォーターに無事到着。半日でしたが盛りだくさんの内容で、関東ブロックの仲間たちとも交流ができてすばらしい研修会でした。横浜女性部の皆さま、ありがとうございました。

#### \*東海ブロック(日帰り)「女性の集いinぎふ」

日程：平成30年10月21日(日)

会場：岐阜市民福祉活動センター

主管：NPO法人ぎふ難聴者協会

内容：～防災を学ぶ～まさかのときに備えよう

実行委員長：加藤 千津子

参加人数：32名



#### ～参加者の感想～

##### 防災体験学習に参加して

(特非)ぎふ難聴者協会 小野 和子

いつ、どこで被災するかわからない、まさかの災害が発生した直後、自分を守り助け合う方法を、講話、実演、体験を通して防災対策の重要性を実感しました。

会場に展示された多種類の非常時用品には入手先、参考価格、使用期限等の説明が書いてあり見入りました。

新聞紙や牛乳パック等、日用的に使うものはいざという時に様々な用途で役立つ方法を体験しました。(新聞紙でスリッパ作り、牛乳パックの角を切り取ったスプーン、ペットボトルを半分に切り、ラップを敷いてお皿作り等)ダンボール箱を利用して作ったベッドや簡易トイレの展示もありました。

講義の後、グループに分かれてブース体験。

①段ボールトイレ製作ではグループ代表で実際に挑戦することになり、自分で大丈夫かな～と緊張のスタートでしたが、丁寧に指導して頂き無事完成。講師に促されて出来立ての段ボールトイレに座ってみました。思いのほか安



定感があり仲間に安心を伝えました。

更に丁寧な解説、実演に引き込まれました。

②防災非常食

③家庭内DIG/ディグ（災害時の対応策を考える訓練）

④電光表示付きAED（蘇生・救命）

今回の貴重な体験を、まさかの時に慌てず、落ち着いた行動に繋がりたいと強く思いました。

長時間に亘り講話、実演に合わせての素早い要約筆記をして頂き、充実の学習会参加でした。本当にありがとうございました。

## 31年度 各ブロックの集い開催予定

\*東海ブロック日帰り「第20回女性の集いin三重」

日 程：未定

場 所：未定

内 容：未定

主 管：三重県難聴・中途失聴者協会

実行委員長：疋田 敦子

\*第10回近畿ブロック女性部一泊交流会 in 神戸&兵庫

日 時 … 2019年9月8日（日）～9日（月）

場 所 … 神戸市総合福祉センター 他

内 容 … 体験発表、ディスカッション、懇親会、観光

主 管 … 神戸市難聴者協会・（特非）兵庫県難聴者福祉協会

実行委員長 … 竹内かづ彥（神戸市）



### 事務局だより

※31年度滋賀県での福祉大会ではバザー販売を実施します。引き続きバザー品の提供を、よろしくお祈りします。（詳細は後日お知らせします）

※平成31年度 役員会・県部長会・総会のお知らせ

日 程：平成31年6月28日（金）～6月30日（日）

場 所：横浜健康福祉センター

神奈川県横浜市中区桜木町 1-1

会議担当者：伊藤 雅子（川崎市中途失聴・難聴者協会 女性部長）

※31年度は役員改選があります。役員に立候補、推薦がありましたら、他薦自薦でも構いませんので、事務局までお知らせください。

年に一度の会議ですので、県部長は必ずご出席をお願いします。

また、一般部員も会議を傍聴できます。総会には出席し直接発言もできます。ご自分の意見を女性部に反映しませんか？ 多くの方のご出席をお待ちしています。

#### ～問い合わせ先～

皆様の情報、投稿をお寄せください。

ご意見、ご要望などありましたら事務局までお知らせください。

事務局：加藤 千津子（岐阜県）

FAX：058 - 242 - 2829

Eメール：chizuko@pcdocwin.jp

